

2018 年度

生命医科学部・生命医科学研究科

協定大学 派遣留学生

募集要項

出願期間

2017年11月02日(木)～11月24日(金)

※長期、ダブルディグリープログラムのみ。短期は通年受付。

※留学を希望する場合は、出願前に生命医科学部事務室に相談の上、留学中や帰国後の履修計画について窓口教員及び各学科・専攻の教務主任もしくは指導教員より指導を受けること。

※留学先の法制度等により、本要項の内容が変更となる可能性があります。

書類提出先・問い合わせ先

京田辺キャンパス教務センター 生命医科学部 成心館1階

開室時間：月～金 9:00-17:00（11:30-12:30 除く）

Tel: 0774-65-7054

E-mail: jt-semjm@mail.doshisha.ac.jp

目次

● 学部間協定に基づく「派遣留学」とは.....	3
● 留学までのスケジュール.....	4~7
● 学部間協定大学一覧表	
ヨーロッパ.....	8~9
● 留学先大学での学位取得を目的としない留学.....	10
● ダブルディグリープログラム大学別詳細	
学部3年次生対象.....	11~12
学部4年次生対象.....	13~17
博士前期1年次生対象.....	17~18
● 応募申請（出願）.....	19
● 留学費用.....	20
● 留学中の安全確保と危機管理 他.....	21
● 語学能力.....	22~23

学部間協定に基づく「派遣留学」とは

同志社大学の教育理念の一つは「国際主義」ⁱであり、多様な留学制度や研修プログラム、奨学金などを整えて、みなさんの留学や国際交流を積極的にバックアップしています（p6 参照）。

さらに、生命医科学部・生命医科学研究科では、大学全体のプログラムとは別に、生命医科学分野の教育・研究機関として名高い外国大学と学部レベルで協定を結び、研究交流や学生交換を行っています。この、学部レベルの協定によって留学することを「学部間協定に基づく派遣留学」とよびます。

「学部間協定に基づく派遣留学」の制度は、基本的には「大学間の協定に基づく派遣留学」ⁱⁱと同じですが、留学先が生命医科学部・生命医科学研究科と専門的な関心、研究分野を同じくしているため、留学先でもみなさんの専門分野の学習・研究を継続したり、発展させることが可能です。

「学部間協定に基づく派遣留学」では、短期（6ヶ月未満）、長期（1年以内）の留学の他に、本学と留学先の双方から二つの修士学位または博士学位の取得を目指す、ダブルディグリープログラム（以下 DD）があります。短期留学は通年応募が可能です。長期留学および DD の場合は出願期間が決まっています。2018 年度中に長期または DD 留学を希望する学生は、2017 年 11 月 2 日～24 日の間に申請してください。

生命医科学部・生命医科学研究科事務室

i 他二つは「キリスト教主義」と「自由主義」

ii 大学レベルの協定によって半年間または 1 年間留学するプログラム。対象は同志社大学の全ての学部・研究科の学生。「外国協定大学派遣留学制度」として、年に 2 回（A 日程、B 日程）募集しています。問合せは国際課まで。

留学までのスケジュール

1. 留学プログラムに応募申請するまでに

実りある留学を実現するには、学部1年次生の初めから自分のキャリア形成プロセスを自己管理する能力が問われます。特に留意すべき点は、

- **学部1年次生から情報収集**：自分の研究分野と留学希望先の情報収集。
- **関心ある専門分野の本学教員とのコンタクト**：普段から協定相手校と交流のある先生方に積極的に質問し、意見をもらう機会を逃さないでください。
- 各自留学プログラムに応募申請するまでに、
 - ① これまでの履修科目で優秀な成績（原則 GPA2.8 以上）と、DD 留学の場合は大学院（博士前期課程）進学が前提となります。
 - ② **語学力の研鑽**：本学部での履修科目：Intensive Course for TOEFL (I.C.T.)や Academic English for Science (AES)、第二外国語科目の履修と、外部語学検定試験（詳細は P24 参照）の受験が必要です。出願には、スコアや成績証明書等の提出が求められます。
 - ③ 3年次までの休暇中の**短期留学プログラム**（国際課主催）や**海外での学外実習**（本学部主催）への参加が推奨されます。各種案内や掲示板に日頃から留意してください。

さらに具体的なイメージを持っていただくために、本学国際課発行の「同志社大学海外留学ロードマップ 2017～はじめの一步～」（4-7 頁）を参照してください。HP からダウンロード、または当事務室等で配布しています。

http://international.doshisha.ac.jp/study_abroad/guidance.html

単位認定

本学部の「派遣留学」制度を利用する場合、派遣先・留学先の大学等で履修した科目については、一定の条件を満たすことで、帰国後本学での卒業に必要な単位に認定される場合があります。但し、以下の点に注意して留学プランを立てる必要があります：

- 留学先と専門分野が異なる場合は、本学部・研究科での学科・専攻で認定可能な科目や単位が履修・修得できない可能性があります。注意が必要です。
- DD 留学等、学部から大学院の課程にまたがって留学する場合、**大学院での各専攻・各学期の必須演習科目：「研究実験 I～IV」に相当する科目**を、留学先でも必ず履修し、帰国後（留学中）に単位認定を受けなければ卒業、修士号取得ができません。
- 単位認定の申請には、単位認定願・留学先での授業科目シラバス（英訳）・その他求められた書類を提出する必要があります。授業内容や時間数等で判断されるため、**申請した全ての科目が認定されるとは限りません**。なお、単位認定の上限は、学部：60 単位以内、大学院：10 単位以内です。

2. 応募申請後のスケジュール（2018年度秋学期からの留学予定の場合）

0. 窓口相談

- ・留学に関するどんな質問も随時受け付けています（平日9:00-11:30、12:30-17:00）。
- ・専門分野と留学先のマッチングについては、事前に本学部の専門分野の教員や各協定校を担当される窓口教員に相談・質問しておくことを勧めます。

1. 応募申請

- ・2018年度秋学期からの留学は、出願期間：2017年11月2日（木）～11月24日（金）に、出願書類を提出してください。詳細はP19参照。
- ・留学希望先への問い合わせ等が必要な場合、申請受付時に2週間程度の確認期間をいただく場合があります。

2. 同志社での選抜

- ・書類選考（2017年12月～）：諸事情により留学先変更等の可能性があります。
- ・語学試験・面接（2018年1～2月）
- ・本学部・研究科から留学希望先へ選抜合格者の紹介通知（2018年2～3月）

3. 留学希望先での選考

- ・受入の最終判断は協定相手校が行い、紹介後不合格になる可能性もあります。
- ・合否結果通知の時期は、協定相手校の選考スケジュールによります。
- ・留学先がオンライン登録を採用している場合は対応に注意してください。

4. 出国準備

- ・合格の結果が出て、留学先から入学許可証等が到着次第、関係国大使館等での入国VISA取得手続きに取り掛かって下さい。
- ・留学先での住居は原則、協定相手校が手配してくれますが、例外もあります。

5. 出国

- ・出国前、必ず当事務室に立ち寄り、必要な手続や書類提出を完了してください。（詳細は正式に留学が決定した後、案内します。）
- ・留学先入学前に現地で語学研修をする場合、準備は各自の責任でお願いします。

6. 留学中

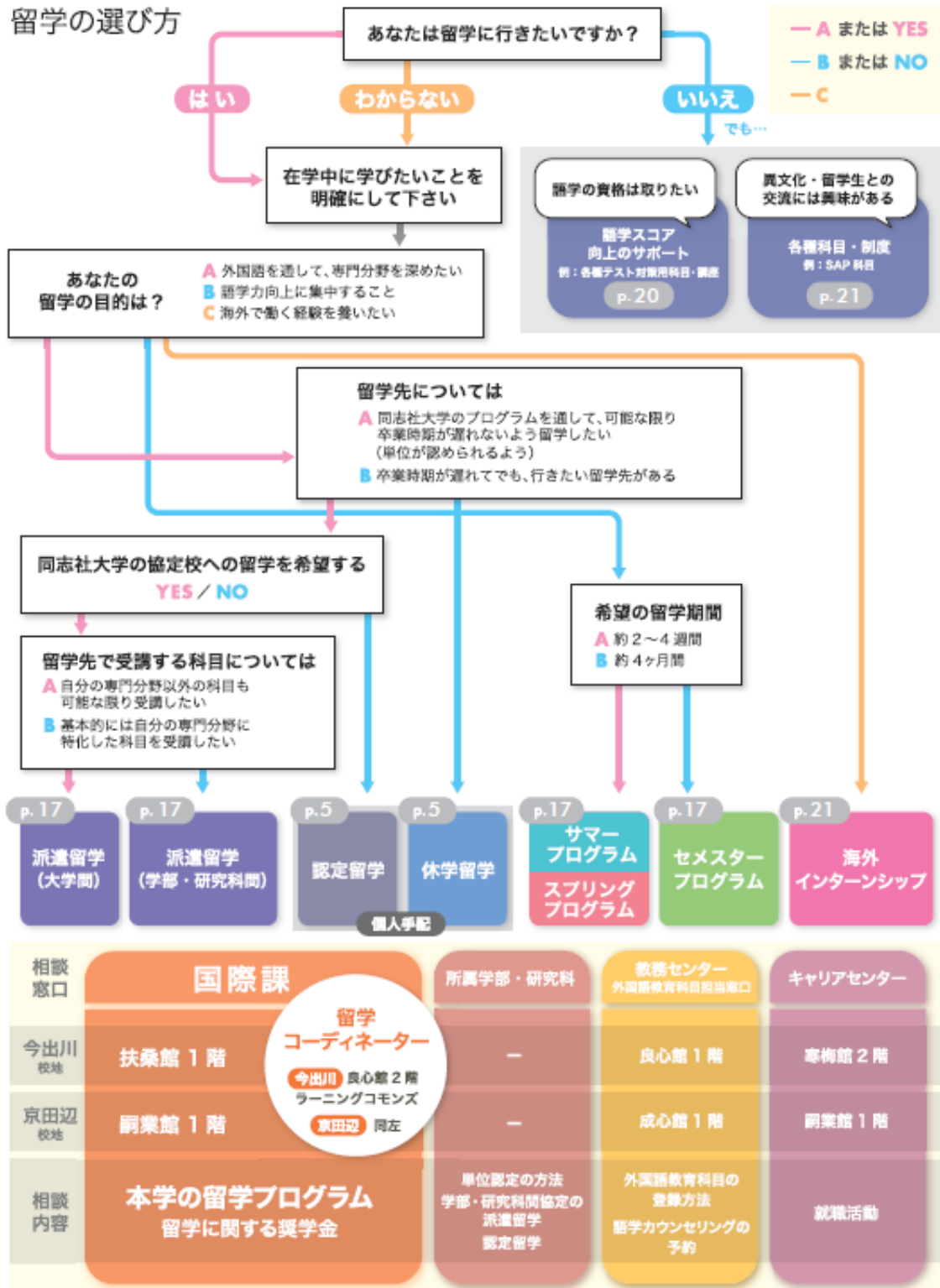
- ・卒業に必要な履修科目・単位を出発前に確認し、留学先で計画的に履修してください。
- ・定期的にお問い合わせする留学報告書・OSSMA報告（危機管理）は忘れずに。

7. 帰国

- ・留学先での授業科目シラバス（英訳）など単位認定に必要な資料を持ち帰ってください。留学中に提出をお願いする場合があります。

3. 留学の選び方

STUDY ABROAD Flowchart

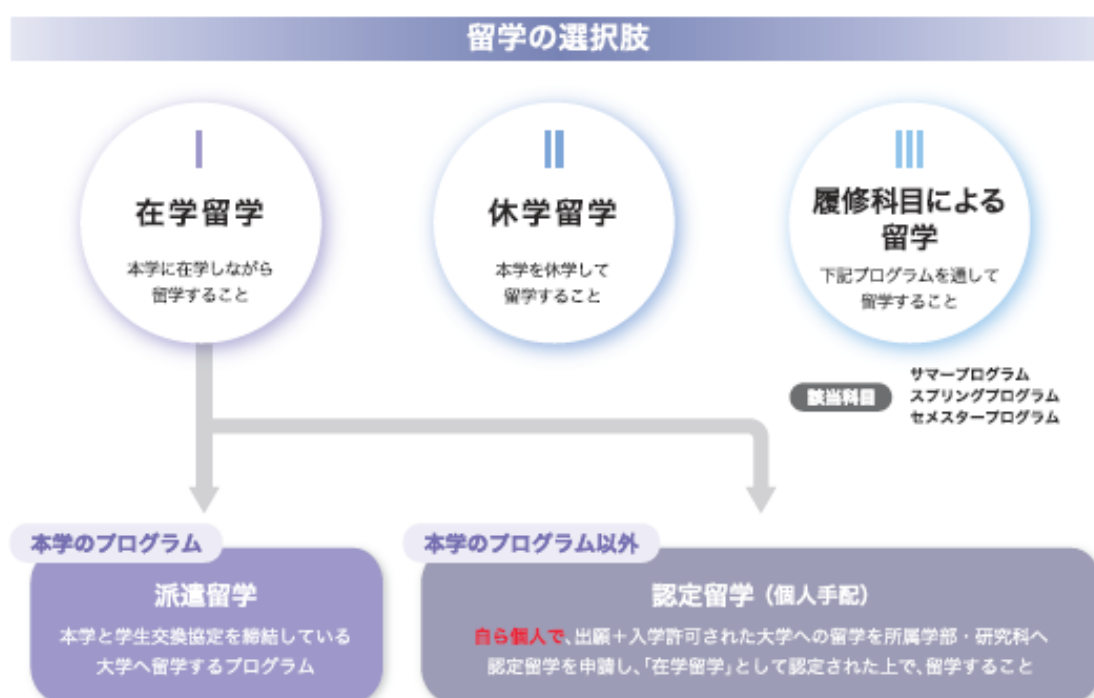


同志社大学「海外留学マニュアル 2017」4 ページ目抜粋

4. 留学制度概要

STUDY ABROAD System Outline

留学制度概要



留学と卒業 / 費用の関係

		卒業要件		留学に掛かる費用			本学を通して申請可能な奨学金
		留学期間の修業年限への算入	留学中に修得した単位の認定	本学の学費	留学先の学費	その他諸費用 (例: 住居費、生活費等)	
在学留学	派遣留学	○	○	○	×	○	○
	認定留学	○	○	○	○	○	○
	休学留学	×	×	— (休学在籍料のみ) 学期: 6万円	○	○	×
	履修科目による留学	○	— (科目として登録する為、合資格に科目の単位を修得)	○	○ (プログラム費用に含まれている)	○ (プログラム費用に含まれている)	○

同志社大学「海外留学マニュアル 2017」5 ページ目抜粋

学部間協定大学一覧表


【種別について】

DD…Double Degree（同志社大学と留学先大学、両方の学位取得を目指すダブルディグリー）プログラム

ND…Non Degree（留学先大学での学位取得を目的としない留学）プログラム

ヨーロッパ

大学名	窓口 教員	種別	学部		博士（前期）課程			博士（後期）課程			
			3年	4年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	4年
フランス											
パリ市立工業物理化学高等専門大学 (ESPCI Paris)	松川	DD			2年間						
		ND		✓	✓	✓		✓	✓	✓	
エコール・セントラル国立理工科学院連合 (EC) リール、リヨン、マルセイユ、ナント、パリ ※博士(後期)課程のDDは要相談。	山口 松川	DD		2年間					10ヶ月 以上		
		ND	✓	✓	✓	✓		✓	✓	✓	
エコール・セントラル・ナント	山口 松川	DD			1年間						
リール国立化学高等専門学校 (ENSCL)	小寺	DD		2年間							
		ND			✓	✓		✓	✓	✓	
ピエール・マリーキュリー大学 ポリテック・パリ	松川	ND			✓	✓		✓	✓	✓	
イタリア											
ミラノ工科大学 (POLIMI) ※博士(後期)課程のDDは要相談。	宮本 山口	DD			2年間				1.5年以上		
		ND	✓	✓	✓	✓		✓	✓	✓	
スペイン											
マドリッド工科大学 (UPM)	宮本	DD			1.5年間						
		ND			✓	✓		✓	✓	✓	
イギリス											
カーディフ大学 視覚光学部	小泉	ND		✓	✓	✓		✓	✓		

大学名	窓口 教員	種別	学部		博士（前期）課程			博士（後期）課程			
			3年	4年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	4年
 ベルギー											
モンス大学 (UMONS)	芳賀	DD			2年間						
		ND			✓	✓					
 オーストリア											
ウィーン工科大学 (TUW) ※DDは医用生体工学研究科のみ。	松川	DD			1.5年間						
		DD			1.5年間						
		ND		✓	✓	✓					
 チェコ											
チェコ工科大学 (CTU)	松川	ND		✓	✓	✓		✓	✓	✓	
 ドイツ											
ハイデルベルク大学 生命科学部	剣持	ND			✓	✓					
オットー・フォン・ゲーリケ大学 生命医科学部 (OVGU)	廣安	ND	2年次以上		✓	✓		✓	✓	✓	
 ノルウェー											
ノルウェー科学技術大学 自然科学技術学部 (NTNU)	山口 後藤	ND		✓	✓	✓		✓	✓	✓	

留学先大学での学位取得を目的としない留学

生命医科学部・研究科では、留学先大学等での学位取得を目的としない、比較的短い期間の留学プログラムも用意しています。

2018 年秋からの留学を希望する場合は、ダブルディグリーの出願と同時期に同様の手続を行ってください。それ以外の時期からの留学を希望する場合は、留学開始希望日から遅くとも半年以上前に生命医科学部事務室にご相談ください。

また、いずれの場合も以下の点に留意してください：

(1) 教員との事前相談が必須

まず当事務室に来訪・相談し、留学希望先との協定の状況等確認してください。その際、協定校との窓口の先生（窓口教員）、及び教務主任（学部生）または専攻教務主任（院生）を紹介します。応募までに留学中と帰国後の学修計画に関して十分な指導を受けてください。

(2) 留学時期・期間の違い

協定毎に留学可能な学年次・期間が異なります。凡そ学部 3 年次生以上から可能ですが、一部の相手校は院生のみ受入可能としています。留学期間も 2 週間から 1 年間と幅がありますが、1 セメスターの留学を推奨しています。

(3) 一定基準以上の能力証明


各学生はいわば本学を代表する学生として相手側に派遣されます。そのため、一定基準以上の単位修得、GPA 評価と語学力が認められない限り、承認されることは困難です（この点、語学力向上を目的とした他の各種留学プログラムとは異なります）。

(4) 留学先での単位修得

せっかく努力して赴いた留学後に不本意な留年などすることがないように、留学先で互換可能な単位修得を心掛けてください。特に博士(前期)課程で留学する場合、各専攻の「研究実験 I～IV」に相当する科目を各セメスターで履修・単位修得する必要があります。

ダブルディグリープログラム大学別詳細

〈学部 3 年次生対象〉

 フランス

エコール・セントラル国立理工科学院連合 (EC)

リール、リヨン、マルセイユ、ナント、パリ

École Centrale de Lille, Lyon, Marseille, Nantes, Paris

【留学開始時期】 学部 3 年次 秋学期より

【留学期間】 2018 年 9 月～2020 年 8 月 (約 2 年間)

【取得学位】

同志社大学：学士号 (工学/理学) + 修士号 (工学/理学)

エコール・セントラル：Diplôme d'Ingénieur-修士号 (工学) 相当技師国家資格

・条件を満たせば、希望者には T.I.M.E.Label Certificate が授与される可能性がある。

【大学 HP】

EC Lille <http://www.ec-lille.fr/>

EC Lyon <http://www.ec-lyon.fr/>

EC Marseille <https://www.centrale-marseille.fr/>

EC Nantes <https://www.ec-nantes.fr/>

EC Paris (CentraleSupélec) <http://www.centralesupelec.fr/>

※エコール・セントラル・パリ (*École Centrale de Paris*) は、2015 年に統合し、セントラルスビレック (*CentraleSupélec*) に名称変更。

【備考】

・フランスで、フランス語夏期集中講座を受講することを推奨している。受講料などは全て自己負担となる。(割引料金で受講できる可能性もあるので要相談のこと。)

【出願資格】

①2016 年度生を対象とする。ただし、2015 年度以前生で休学期間がある場合には、3 セメスター(1.5 年間) 修業後、出願資格を得るものとする。

②出願時点で 66 単位以上を修得している者。なお、出願時点で必修科目の単位を全て修得し、累積 GPA2.8 以上が望ましい。

【語学能力】


フランス語：「フランス語入門 I・II」を少なくとも履修済み、またはこれに相当する能力を有すること。

英語：TOEFL iBT®TEST 79 点以上 (TOEIC®LISTENING AND READING TEST 750 点以上) 取得もしくはこれに相当する能力を有すること。

【学内選考】

書類選考合格後、2018 年 1 月中旬 (予定) に、フランス語能力試験 (筆記・口頭試問) および総合面接を行う。

〈学部 3 年次生対象〉

 フランス

リール国立化学高等専門学校 (ENSCL)

École Nationale Supérieure de Chimie de Lille

【留学開始時期】 学部 3 年次 秋学期より

【留学期間】 2018 年 9 月～2020 年 8 月 (約 2 年間)

【取得学位】

同志社大学：学士号 (工学/理学) + 修士号 (工学/理学)

ENSCL：Diplôme d'Ingénieur－修士号 (工学) 相当技師国家資格

【大学 HP】 ENSCL <http://www.ensc-lille.fr/>

【備考】

- ・フランスで、フランス語夏期集中講座を受講することを推奨している。受講料などは全て自己負担となる。(割引料金で受講できる可能性もあるので要相談のこと。)

【出願資格】

①2016 年度生を対象とする。ただし、2015 年度以前生で休学期間がある場合には、3 セメスター(1.5 年間) 修業後、出願資格を得るものとする。

②出願時点で 66 単位以上を修得している者。なお、出願時点で必修科目の単位を全て修得し、累積 GPA2.8 以上が望ましい。

【語学能力】


フランス語：「フランス語入門 I・II」を少なくとも履修済み、またはこれに相当する能力を有すること。

英語：TOEFL iBT®TEST 79 点以上 (TOEIC®LISTENING AND READING TEST 750 点以上) 取得もしくはこれに相当する能力を有すること。

【学内選考】

書類選考合格後、2018 年 1 月中旬 (予定) に、フランス語能力試験 (筆記・口頭試問) および総合面接を行う。

〈学部 4 年次生対象〉

 フランス

エコール・セントラル・ナント

École Centrale de Nantes

【留学開始時期】 学部 4 年次 秋学期より

【留学期間】 2018 年 9 月～2019 年 8 月（約 1 年間）

【取得学位】

同志社大学：学士号（工学／理学）＋修士号（工学／理学）

エコール・セントラル・ナント：修士号（工学）

【プログラム】 英語プログラム

【大学 HP】 EC Nantes <https://www.ec-nantes.fr/>

【備考】

- ・フランスで、フランス語夏期集中講座を受講することを推奨している。受講料などは全て自己負担となる。（割引料金で受講できる可能性もあるので要相談のこと。）

【出願資格】

- ①2015 年度生を対象とする。ただし、2014 年度以前生で休学期間がある場合には、5 セメスター(2.5 年間) 修業後、出願資格を得るものとする。
- ②4 年次進級見込者。なお、出願時点で必修科目の単位を全て修得し、累積 GPA2.8 以上が望ましい。

【語学能力】

英語：TOEFL iBT®TEST 79 点以上（TOEIC®LISTENING AND READING TEST 750 点以上）取得
もしくはこれに相当する能力を有すること。

フランス語：日常会話レベルが望ましい。

【学内選考】

書類選考合格後、2018 年 1 月中旬（予定）に、英語能力試験（口頭試問）および総合面接を行う。

※筆記試験を実施する場合がある。

〈学部 4 年次生対象〉

 フランス

パリ市立工業物理化学高等専門大学 (ESPCI Paris)

École Supérieure de Physique et de Chimie Industrielles de la Ville de Paris

【留学開始時期】 学部 4 年次 秋学期より

【留学期間】 2018 年 9 月～2020 年 8 月 (約 2 年間)

※帰国後、同志社大学生命医科学研究科に 1.5 年間在学する必要あり。

【取得学位】

同志社大学：学士号 (工学/理学) + 修士号 (工学/理学)

ESPCI Paris : Diplôme d'Ingénieur - 修士号 (工学) 相当技師国家資格

【大学 HP】 ESPCI Paris <https://www.espci.fr/fr/>

【備考】

- ・フランスで、フランス語夏期集中講座を受講することを推奨している。受講料などは全て自己負担となる。(割引料金で受講できる可能性もあるので要相談のこと。)

【出願資格】

- ①2015 年度生を対象とする。ただし、2014 年度以前生で休学期間がある場合には、5 セメスター(2.5 年間) 修業後、出願資格を得るものとする。
- ②4 年次進級見込者。なお、出願時点で必修科目の単位を全て修得し、累積 GPA2.8 以上が望ましい。

【語学能力】

フランス語：「フランス語入門 I・II」を少なくとも履修済み、またはこれに相当する能力を有すること。
英語：TOEFL iBT®TEST 79 点以上 (TOEIC®LISTENING AND READING TEST 750 点以上) 取得
もしくはこれに相当する能力を有すること。

【学内選考】

書類選考合格後、2018 年 1 月中旬 (予定) に、フランス語能力試験 (筆記・口頭試問) および総合面接を行う。

〈学部 4 年次生対象〉

 イタリア
ミラノ工科大学 (Polimi)
Politecnico di Milano

【留学開始時期】 学部 4 年次 秋学期より

【留学期間】 2018 年 9 月～2020 年 8 月 (約 2 年間)

※帰国後、同志社大学生命医科学研究科に 1.5 年間在学する必要あり。

【取得学位】

同志社大学：学士号 (工学/理学) + 修士号 (工学/理学)

Polimi : Laurea Magistrale—修士号 (工学)

・条件を満たせば、希望者には T.I.M.E.Label Certificate が授与される可能性がある。

【大学 HP】 Polimi <http://www.polimi.it/it/home/>

【備考】

・イタリアで、イタリア語夏期集中講座を受講することを推奨している。受講料などは全て自己負担となる。

【出願資格】

①2015 年度生を対象とする。ただし、2014 年度以前生で休学期間がある場合には、5 セメスター(2.5 年間) 修業後、出願資格を得るものとする。

②4 年次進級見込者。なお、出願時点で必修科目の単位を全て修得し、累積 GPA2.8 以上が望ましい。

【語学能力】

英語：TOEFL iBT®TEST 79 点以上 (TOEIC®LISTENING AND READING TEST 750 点以上) 取得
もしくはこれに相当する能力を有すること。

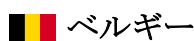
イタリア語：日常会話レベルが望ましい。

【学内選考】

書類選考合格後、2018 年 1 月中旬 (予定) に、英語能力試験 (口頭試問) および総合面接を行う。

※筆記試験を実施する場合がある。

〈学部 4 年次生対象〉



ベルギー

モンス大学 (UMONS)

Université de Mons

【留学開始時期】 学部 4 年次 秋学期より

【留学期間】 2018 年 9 月～2020 年 8 月 (約 2 年間)

※帰国後、同志社大学生命医科学研究科に 1.5 年間在学する必要あり。

【取得学位】

同志社大学：学士号 (工学/理学) + 修士号 (工学/理学)

UMONS : Diplôme d'Ingénieur Civil - 修士号 (工学) 相当国家資格

・条件を満たせば、希望者には T.I.M.E.Label Certificate が授与される可能性がある。

【プログラム】

原則、(a)フランス語プログラム。

下記 2 分野のみ、(b)英語プログラムがある。

1. Multimedia and Telecommunications

キーワード：信号処理、デジタル電子工学、無線通信、マルチメディアネットワーク、拡張現実感、IoT、画像処理とパターン認識、先端通信工学、光通信工学、ビジュアルプログラミング、セキュリティシステム、組み込みシステム、デジアナ混合回路

2. Signals, Systems, and Bioengineering

キーワード：信号処理、パワーエレクトロニクス、計測工学、最適制御、ロボディクス、画像処理とパターン認識、制御工学、センサ工学、医用画像処理、生体信号処理

【大学 HP】 UMONS <http://portail.umons.ac.be/en2/Pages/default.aspx>

【出願資格】

①2015 年度生を対象とする。ただし、2014 年度以前生で休学期間がある場合には、5 セメスター(2.5 年間) 修業後、出願資格を得るものとする。

②4 年次進級見込者。なお、出願時点で必修科目の単位を全て修得し、累積 GPA2.8 以上が望ましい。

【語学能力】

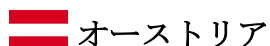
フランス語：「フランス語入門 I・II」を少なくとも履修済み、またはこれに相当する能力を有すること。

英語：TOEFL iBT®TEST 79 点以上 (TOEIC®LISTENING AND READING TEST 750 点以上) 取得
もしくはこれに相当する能力を有すること。

【学内選考】

書類選考合格後、2018 年 1 月中旬 (予定) に、(a)フランス語能力試験 (筆記・口頭試問) と総合面接、または、(b)英語能力試験 (口頭試問) と総合面接を行う。※筆記試験を実施する場合がある。

〈学部 4 年次生対象〉 〈博士前期 1 年次生対象〉



オーストリア

ウィーン工科大学 医用生体工学研究科 (TUW)

Technische Universität Wien

【留学開始時期】

- (a) 学部 4 年次 秋学期より
- (b) 博士前期 1 年次 秋学期より

【留学期間】

2018 年 9 月～2020 年 2 月 (約 1.5 年間)

※(b)の場合、帰国後、同志社大学生命医科学研究科に 1 年間在学する必要あり。

【取得学位】

同志社大学：学士号 (工学／理学) + 修士号 (工学／理学)

TUW：修士号 (工学)

- ・条件を満たせば、希望者には T.I.M.E.Label Certificate が授与される可能性がある。

【プログラム】 DD は医用生体工学研究科 (英語プログラム) のみ。

【大学 HP】 TUW <http://www.tuwien.ac.at/de/>

【出願資格】

- (a) ①2015 年度生を対象とする。ただし、2014 年度以前生で休学期間がある場合には、5 セメスター (2.5 年間) 修業後、出願資格を得るものとする。
②4 年次進級見込者。なお、出願時点で必修科目の単位を全て修得し、累積 GPA2.8 以上が望ましい。
- (b) 生命医科学部卒業見込者かつ同志社大学生命医科学研究科大学院入試に合格した者。なお、累積 GPA2.8 以上が望ましい。

【語学能力】

英語：TOEFL iBT®TEST 79 点以上 (TOEIC®LISTENING AND READING TEST 750 点以上) 取得
もしくはこれに相当する能力を有すること。

ドイツ語：日常会話レベルが望ましい。

【学内選考】

書類選考合格後、2018 年 1 月中旬 (予定) に、英語能力試験 (口頭試問) および総合面接を行う。

※筆記試験を実施する場合がある。

〈博士前期 1 年次生対象〉



スペイン

マドリッド工科大学 (UPM)

Universidad Politécnica de Madrid

【留学開始時期】

博士前期 1 年次 秋学期より

【留学期間】

2018 年 9 月～2020 年 2 月 (約 1.5 年間)

※帰国後、同志社大学生命医科学研究科に 1 年間在学する必要あり。

【取得学位】

同志社大学：修士号 (工学/理学)

UPM：修士号 (下記よりいずれか選択する)

- ・ Máster en Ingeniería Industrial (生産工学) ・ Máster Universitario en Ingeniería Acústica en la Industria y el Transporte (音響工学) ・ Máster Universitario en Ingeniería Ambiental (環境工学) ・ Máster Universitario en Automática y Robótica (オートメーションとロボット工学) ・ Máster Universitario en Ciencia y Tecnología Nuclear (原子力科学技術)
- ・ Máster Universitario en Economía y Gestión de la Innovación (経済学と技術経営管理工学) ・ Máster Universitario en Ingeniería Eléctrica (電気工学) ・ Master on Industrial Electronics (電子工学) ・ Máster Universitario en Ingeniería de la Energía (エネルギー工学) ・ Máster Universitario en Ingeniería Mecánica (機械工学) ・ Máster Universitario en Ingeniería de Organización (経営工学) ・ Máster Universitario en Ingeniería Química (化学工業) ・ Máster Universitario en Ingeniería Sísmica: Dinámica de Suelos y Estructuras (耐震工学) ・ Máster Universitario en Tecnología Láser (レーザー工学)
- ・ 条件を満たせば、希望者には T.I.M.E.Label Certificate が授与される可能性がある。

【大学 HP】 UPM <http://www.upm.es/>

【備考】

- ・ スペインで、スペイン語夏期集中講座を受講することを推奨している。受講料などは全て自己負担となる。

【出願資格】

生命医科学部卒業見込者かつ同志社大学生命医科学研究科大学院入試に合格した者。なお、累積 GPA2.8 以上が望ましい。

【語学能力】

英語：TOEFL iBT®TEST 79 点以上 (TOEIC®LISTENING AND READING TEST 750 点以上) 取得
もしくはこれに相当する能力を有すること。

スペイン語：日常会話レベルが望ましい。

【学内選考】

書類選考合格後、2018 年 1 月中旬 (予定) に、英語能力試験 (口頭試問) および総合面接を行う。

※筆記試験を実施する場合がある。

応募申請（出願）

※留学を希望する場合は、出願前に生命医科学部事務室に相談の上、留学中や帰国後の履修計画について窓口教員及び各学科・専攻の教務主任もしくは指導教員より指導を受けること。

出願期間：2017年11月2日（木）～11月24日（金）

受付：生命医科学部・生命医科学研究科事務室

出願書類：下記7点

- ①派遣留学申込書 ……所定用紙
- ②保証人留学同意書 ……所定用紙
- ③履歴書 ……A4 自由書式、英文
- ④志望理由書 ……A4 自由書式、英文と和文を1通ずつ
- ⑤留学先での研究計画書 ……A4 自由書式、英文と和文を1通ずつ（※）

※留学開始時に大学院に在籍している場合のみ提出。作成にあたって予め留学先指導教員と研究分野や課題について打ち合わせが必要。

- ⑥成績証明書 ……2017年春学期までの成績が反映されたもの、和文
- ⑦外国語能力を証明する書類 ……原本またはコピーのいずれも提出可。詳細は P24 参照。

所定用紙は、生命医科学部・生命医科学研究科ホームページよりダウンロード可能。

<http://biomedical.doshisha.ac.jp/graduate/international/international.html>

留学費用

派遣留学の場合に必要なとされる関連費用については、原則以下のとおりです：

1. **同志社大学には継続して学費を納入**していただきます。他方、**留学先の学費は原則免除**されます（例外的に一部実験費等を負担する場合があります）。
2. 現地での生活費：住居費、食費等は**学生個人の負担**となります。
3. 渡航費、留学用海外旅行保険、入国ビザ申請費用等も**学生個人の負担**となります。

留学費用は十分余裕を持って準備し、親族・保証人等と事前によく相談・了解を得た上で応募申請してください。留学先国・地域への入国ビザ申請の際、滞在期間中の十分な生活資力を証明するため、学生本人または経済的負担者の銀行残高証明書等の提出が必要になる場合があります。

奨学金・奨励金

学内外で以下のような奨学金・奨励金が設けられています：

(1) “**トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム**”（官民協働海外留学支援制度）

第9期生出願について、本学国際課主催の説明会が開催される予定です。

本学での出願日程：2017年12月予定

詳細については、本学国際課 HP と同奨学金 HP を参照ください。

(<http://www.tobitate.mext.go.jp/>：ただし、同 HP 冒頭に掲載されている募集期間と本学（在籍大学での一括申請）の〆切は異なるので注意してください。)

(2) **日本学生支援機構（JASSO）海外留学支援制度**

例年2月頃募集要項が公表されます。その時期、選抜通過者には同詳細を案内する予定です。

例年本学が準備している奨励金「同志社大学外国協定派遣留学生に対する奨学金」については、11月の応募申請開始時に詳細を案内する予定です。

留学中の安全確保と危機管理 他

留学用海外旅行保険

派遣留学生は、出発から帰国までの間、万一の疾病・傷害等をカバーする海外旅行保険に自己負担で加入することが義務付けられています。留学先の国・大学等が指定する健康保険等がある場合も加入する必要があります。詳細は、本学国際課 HP の下記部分を参照ください：「留学用海外旅行保険／Study Abroad Insurance」

http://international.doshisha.ac.jp/study_abroad/insurance/insurance.html

危機管理システム

本学は派遣留学生全員に、民間危機管理会社 EAJ による留学生のための総合危機管理システム：OSSMA への登録を義務づけています。留学期間中、同システムより各学生に安否確認メール等が定期的に届きますので、必ず速やかに返信するよう心掛けてください。

参考：(1) 日本エマージェンシーアシスタンス株式会社 (EAJ)：留学生危機管理サービス (OSSMA)

<https://emergency.co.jp/service/education/>

留学先の国・地域の安全・治安状況によっては、本学または本学部・研究科が派遣中止または帰国勧告等を当該留学生に下すことがあります。これには速やかに従ってください。ただし、各種キャンセル費用、帰国費用等は当該学生自身の自己負担となります。渡航(予定)先の安全情報を常時確認して、安全で快適な留学プランを立ててください。

参考：(2) 本学国際課「海外渡航時または滞在中の安全管理について」：

http://international.doshisha.ac.jp/study_abroad/safety_control/safety_control.html

(3) 外務省海外安全ホームページ：<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

入国のための学生 VISA 申請手続

協定による派遣留学でも、フランスに留学する場合、フランス政府留学局・日本支局への事前登録が必要です (<http://www.japon.campusfrance.org/ja/>)。他の国・地域でも、本学からの**在籍証明書等が必要な場合**があるので、本学部・研究科から選抜された時点で、関連手続きについて当該大使館等に照会、情報収集を始めてください。

入学前の語学研修

協定相手校から、留学先での学期・学年開始前に現地での語学研修を強く勧められる場合があります。実施機関の選定、諸手続き、費用等はすべて学生本人の自己負担・自己責任となります。なお、フランスの一部協定校(エコール・セントラル等)に留学する場合、フランス語研修料の割引制度が受けられる実施機関 (CAVILAM 等) がありますので、希望する場合は事前に当事務室に相談してください。

※その他、留学中の提出書類や必要な手続等については、正式に留学が決定した後、お伝えします。

語学能力

【英語】

試験	スコア目安	証明書の提出について
TOEFL iBT [®] TEST	79	インターネット上のスコア確認画面のコピーも提出可能。 表示画面全てを印刷すること。
TOEFL [®] PBT TSET	550	有効なスコアを持っていて、TOEFL-PBT による出願を希望する 場合、事前に相談すること。
TOEFL ITP [®] TEST	550	本学で受験したスコアのみ提出可能。証明書記載の "Name of Institution" が "Doshisha University" であること。 "Doshisha High School" などの場合は受付できない。
IELTS	5.5	インターネット上のスコア確認画面のコピーも提出可能。 表示画面全てを印刷すること。
TOEIC [®] TEST (TOEIC [®] LISTENING AND READING TEST)	750	証明書のコピー提出可能。
英検	準一級	証明書のコピー提出可能。

【CEFR】 Common European Framework Reference for language : ヨーロッパ言語共通参照枠

フランス語

CEFR	DELF・TCF	仏検
B2 以上	B2 以上	1 級
B1		準 1 級
	B1	2 級
A2		準 2 級
	A2	3 級

ドイツ語

CEFR	ゲーテドイツ語検定試験	独検
B2 以上	Goethe Zertificat B2 以上	1 級
B1		準 1 級
	Goethe Zertificat B1	2 級
A2		3 級
	Start Deutsch	4 級

スペイン語

CEFR	DELE	西検
B2 以上	B2 以上	3 級以上
B1	B1	
A2	A2	4 級

イタリア語

CEFR	CILS	伊検
B2 以上	B2 以上	準 2 級
B1	B1	3 級
A2	A2	4 級

中国語

CEFR	HSK	中検
B2 以上	5 級以上	準 1 級以上
B1	4 級	2 級
A2	3 級	3 級

英語

CEFR	TOEFL iBT [®]	TOEIC [®]
B2 以上	87-109	740
B1	57-86	520
A2	40-56	400

【CEFR 自己評価の目安 (簡略版)】

		A1	A2	B1	B2	C1	C2
理解 する	聞く力	はっきり、ゆっくりと話しても られれば、聞きなれた語やごく 基本的な表現を聞き取れる。	最も頻繁に使われる語彙や 表現を理解することができる。	身近な話題について、明瞭で標 準的な話し方の会話なら要点を 理解することができる。	テレビのニュースや時事問題、 標準語の映画ならほとんど理解 できる。	特別の努力なしにテレビ番組や 映画を理解できる。	母語話者の速いスピードで話されて も、どんな種類の話し言葉も難なく 理解できる。
	読む力	掲示やポスター、カタログな どの中の良く知っている名前、 単語、単純な文を理解できる。	ごく短い簡単なテキストや 簡単な短い個人的な手紙は 理解できる。	日常語や、自分の仕事関連のテ キストなら理解できる。簡単な 私信を理解できる。	現代の問題についての記事や報 告が読める。現代文学の散文は 読める。	複雑なテキストを理解できる。 自分の関連外分野での専門的 記事も理解できる。	抽象的で複雑なテキストなど、あ らゆる形式で書かれた言葉を容易に 読むことができる。
話 す	会話力	必要なことや身近な話題につ いての簡単な質問なら、聞いたり 答えたりできる。	短い社交的なやり取りをす ることができる。	日常生活に直接関係のあること や個人的な関心事について、準 備なしで会話ができる。	身近な話題の議論に積極的に参 加し、自分の意見を説明できる。	社会上、仕事上の目的に合った 言葉使いができ、自分の考え や意見を正確に表現できる。	いかなる会話や議論でも努力しな いで加わることができる。
	表現力	住んでいるところ、また知って いる人たちについて簡単な語句 や文を使って表現できる。	家族、周囲の人々、居住条件、 を簡単な言葉で説明できる。	簡単な方法で語句をつないで、 自分の経験や出来事、夢や希望、 目標を語ることができる。	興味関心のある話題について、 明瞭で詳細な説明ができる。	複雑な話題を、一定の観点を展 開しながら、適切な結論でまと め上げることができる。	論理的な会話で聞き手に重要点 を把握させ、記憶にとどめさせる ことができる。
書 く	書く力	お祝いのメッセージなど、短い 簡単な言葉を書くことができる。	簡単に短いメモやメッセージ、 短い個人的な手紙なら書くこと ができる。	身近で個人的に関心のある話題 を書くことができる。私信や経 験や印象を書くことができる。	興味関心のある話題について、 明瞭で詳細な説明文を書くこと ができる。	手紙やエッセイ、レポートで 複雑な主題を扱うことができる。	論理的に事情を説明し、複雑な 内容の手紙、レポート、記事を書 くことができる。

TOEFL, TOEFL iBT, TOEFL ITP and TOEIC are registered trademarks of Educational Testing Service (ETS).